

## 未帰省者外出 ふじみ更生園

8月20日(金)、さくら通り女子利用者が田人おふくろの宿へ外出しました。天候も良く絶好の外出日和。宿に到着し、楽しみにしていた昼食の時間。メニューはお刺身、生姜焼き、天ぷら等盛り沢山です。皆「美味しいね」と夢中でほおぼっていました。食後は大きなお風呂にゆっくり浸かりながら、地

域の方との交流を図ることもできました。帰る時には大満足の笑顔。皆の笑顔は真夏の太陽よりも輝いていました。また、24日(火)にコスモス通り女子利用者が鹿島ショッピングセンターへ。31日(火)にさくら通り男子利用者が古滝屋へそれぞれ外出し楽しい時間を過ごされました。



## 日帰り旅行 ～おふくろの宿・土みに館～ やしおみ荘

9月3日(金)、利用者13名は自然あふれた場所に立地し、宿泊・入浴施設も備えた田人おふくろの宿において会食し、同じ田人町の土みに館にて陶芸体験を行ないました。



送迎バスの中では、これからどこに行くのかと楽しみにしている方、会食を楽しみにしている方など、一人ひとりが日帰り旅行を心待ちにしている様子でし

た。おふくろの宿に到着すると、食事の準備がすでに整っており、きれいに盛り付けられたお膳を目の前にし、目を輝かせていました。どのおかずから食べようか迷いながら食事を進め、満面の笑みの中、会話も弾んでいました。

食事を終えると、今度は陶芸体験です。陶芸教室の先生のご指導のもと、模様のついた型に粘土をかぶせ、皿等を作製しました。一人ひとり異なった個性的な作品が仕上がりに、世界に一つしかない思い出の品が出来ました。乾燥してから、陶器を焼くため、完成したのは後日。焼き上がった陶器を一人ひとりの利用者に手渡すと、当日の思い出を振り返りながら、出来上がった作品を笑顔で見つめていました。

## 一泊旅行 ～本州を離れ、いざ佐渡へ～ やしおみ荘

9月23日(木)～24日(金)、新潟・佐渡方面に一泊旅行へ出発しました。バスの中は悪天候に負けにくいぐらいの明るい歌声が響き渡っていました。新潟港から佐渡へ渡る際、船とジェット機の特徴を合わせ持った『ジェットfoil』に乗船し、今までに体験したことのない速い船に感激しながらも、窓から眺めた新潟港もあつという間に見えなくなり、カーフェリーでは2時間かかるところを1時間あまりで佐渡へ。

佐渡歴史伝説館では佐渡の歴史をその時代の偉人を通して知り、利用者の中には人形の細かい動作と表情に驚きながらも見入ってしまう方もいました。また、拉致被害者の夫・ジェンキンスさんが店頭で働いている姿を拝見し、利用者と共に笑顔で写真撮影して頂きました。佐渡金山では、金の延べ棒を片手で持ち上げるコーナーがあり、利用者・職員が一人ひとり挑戦しましたが、結果は惨敗でした。

ホテルでは日本海を目の前に臨むお風呂でお月見です。月明かりに照らされた海は、太平洋とはまた異なり、感動的でした。宴会では、日本海の海の恵みをはじめ、佐渡名

物のおけさ柿もあり、どれから手をつけようか悩んでいる姿は、どの利用者も満面の笑顔でした。

翌日は天候も持ち直し、大佐渡スカイラインを経由し、国の特別天然記念物に指定されている朱鷺の森公園の朱鷺を観賞しました。朱鷺は警戒心が強いいため、少し離れた場所にて双眼鏡での観賞でしたが、可愛らしい赤い顔と黒い嘴、大きな白い翼は今でも心に残っています。



遠方への旅行でしたが、歴史と海・山の自然に触れ、なかなかできない体験を通して、利用者一人ひとりの心のアルバムにたくさんの思い出が刻まれた2日間でした。

## 上遠野中学校職場体験学習 ふじみ更生園

9月8日(水)～9日(木)に上遠野中学校より4名の学生が来園し、職場体験学習を行ないました。利用者は数日前から「いつ来るの?」と楽しみにしており、当日学生の姿が見えると玄関に集まりお出迎えをしました。それぞれに挨拶を交わした後、一緒に日課に参加をしてもらいました。創作活動、クッキー作業、ミュージックケアを行い、

初めは緊張していた学生の皆さんも、時間が経つと笑顔も見られました。慣れないながらも一生懸命に利用者に関わろうとする姿や、職員の仕事の様子を観察する姿があり、熱心に取り組んでいました。中学生の皆さんには是非この体験を将来に活かして欲しいと思います。